

とちぎ米産地だより～9月号～

<とちぎ米に関する情報をみなさまにお届けします！>

第102号 令和2年9月11日
発行者:JA全農とちぎ 米穀課

令和2年産とちぎ米 ついに収穫が始まりました！

9月になり少しずつ暑さも和らいできて涼しい風が吹き始めました。5月に田植えをした田んぼでは穂が黄金色に染まり始め、その実った重さで下に垂れています。まさに秋の風景といった感じです！栃木県内各地では稲刈りが次々に行われています。今年もおいしいとちぎの新米を皆様にお届けできそうです！

農家の皆様方の想いがいっぱい詰まった、令和2年産のとちぎ米にもご期待ください！



きれいな黄金色～！！！！



©栃木県 とちまるくん



とちぎ米広域集出荷センターが完成しました！

8月26日に矢板市内に完成しました「とちぎ米広域集出荷センター」の竣工式が行われました。フレコンでの集荷需要の高まりや実需者への安定した品質で通年供給ができるようになりました。全天候積み下ろし可能、全倉庫低温完備されているほか、検査場も設置しております。竣工式では実際にトラックによりお米が集荷されました。全農とちぎはこれからも良品質米の安定した供給を目指してまいります！



～とちぎ米を知ってもらうために～

全農とちぎでは、生産者の皆様が丹精込めて育てたお米を、より多くの方に認知いただき、おいしく召し上がっていただくために、日々様々な販売促進活動を実施しています。8月のイベントが実施されましたので、お写真とともにご紹介します！



もぐもぐごはん部 オンライン自由研究！！



今年のもぐもぐの夏休み企画は、初めてのオンライン活動を行いました。新しい生活様式に合わせて、「ZOOM」というアプリを使い皆さんと画面越しで集まりました。

「おこめゼミ」ではお米に関するクイズを、お昼にはとちぎ米で炊いたご飯でみんなと一緒にカレーを食べました。子供たちにとってよい夏の思い出になったことと思います！



このように画面越しで参加者全員が見えています。クイズに答えたり、一緒に食事をしたいする様子が見えていると活動が楽しくなります！

右の写真はクイズを行っている様子ですが、皆さんは「米」という漢字の成り立ちをご存じでしょうか？

「米」という字には稲を植えてからお米の収穫ができるまでに**88(八十八)個の苦勞がある**という意味が込められているという説があるそうです。



今後もオンライン活動で活動を行っていきますので気になった方は「もぐもぐごはん部」で検索！お待ちしております！！

※ 問い合わせ先 ※

◆内容に関するご意見、ご質問、ご感想も、是非お寄せください。

JA全農とちぎ 米穀課 電話:028-616-8820 FAX:028-616-8828